

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 2 区分
【発行日】 令和 4 年 12 月 2 日 (2022.12.2)

【公開番号】 特開 2021-92678 (P2021-92678A)
【公開日】 令和 3 年 6 月 17 日 (2021.6.17)
【年通号数】 公開・登録公報 2021-027
【出願番号】 特願 2019-223549 (P2019-223549)
【国際特許分類】

G 0 2 B 7/04 (2021.01)

G 0 2 B 7/02 (2021.01)

【F I】

G 0 2 B 7/04 D

G 0 2 B 7/02 A

G 0 2 B 7/02 E

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 11 月 24 日 (2022.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レンズ群を保持し、外周部に雄ネジが形成された第 1 筒状部材と、
前記雄ネジと螺合する雌ネジが内周部に形成された第 2 筒状部材と、
前記第 2 筒状部材の外側に嵌合し、前記第 2 筒状部材の軸の周りに回転可能な操作部材と、

前記第 1 筒状部材と前記操作部材とを連結し、前記軸の周りの前記操作部材の回転を前記第 1 筒状部材に伝達する連結部材と、
を有し、

前記第 2 筒状部材は、前記雌ネジが形成されていない部分において径方向に貫通する孔が形成され、

前記連結部材は、前記孔に挿入されて前記第 1 筒状部材と前記操作部材とを連結している、

ことを特徴とするレンズ装置。

【請求項 2】

前記第 1 筒状部材は、前記操作部材の前記回転によって、前記軸に沿って移動することを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ装置。

【請求項 3】

前記連結部材は、前記第 1 筒状部材に固定され、前記操作部材の内周部に形成された溝に摺動可能に係合していることを特徴とする請求項 2 に記載のレンズ装置。

【請求項 4】

前記連結部材は、前記操作部材に固定され、前記第 1 筒状部材の前記外周部に形成された溝に摺動可能に係合していることを特徴とする請求項 2 に記載のレンズ装置。

【請求項 5】

前記第 2 筒状部材は、前記雌ネジが形成された前記部分の物体側に、アクセサリを装着する装着部を有し、

前記孔は、前記雌ネジが形成された前記部分の像側に形成されている、

10

20

30

40

50

ことを特徴とする請求項 1 ないし請求項 4 のうちいずれか 1 項に記載のレンズ装置。

【請求項 6】

前記装着部は、前記第 2 筒状部材に固定された第 3 筒状部材を含む請求項 5 に記載のレンズ装置。

【請求項 7】

前記第 1 筒状部材は、フォーカスレンズ群を保持していることを特徴とする請求項 2 に記載のレンズ装置。

【請求項 8】

前記装着部に装着されるアクセサリは、テレコンバータ、ワイドコンバータ、レンズフード、フィルタのうちの少なくとも 1 つを含むことを特徴とする請求項 5 または請求項 6 に記載のレンズ装置。

10

【請求項 9】

請求項 1 ないし請求項 8 のうちいずれか 1 項に記載のレンズ装置と、

前記レンズ装置によって形成された像を撮る撮像素子と、
を有することを特徴とする撮像装置。

20

30

40

50